

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書（参加学生）

平成 28 年 9 月 18 日

所属：医学部保健学科看護学専攻 学年 3

氏名：江泉美緒

研修先大学・機関名等（国）：王立ブータン大学健康科学院（ブータン王国）

在籍身分：学生

渡航年月日：2016 年 8 月 6 日

帰国年月日：2016 年 8 月 21 日

○研修先での学習内容等

学校や病院、施設を見学し、医療者不足のブータンにおける医療の仕組みや地域での医療のあり方について知った。ブータンでは学生も病院の中で医療提供者となり、またヘルスアシスタントと呼ばれる人々によって地域での人々の健康が守られていた。

○研修期間の生活面について

2週間ブータンで生活する中で、生活面で困ることはほとんどなかった。健康科学院の先生方にお世話になりながら主に食生活の面でブータンの人々の生活を体験することができ、食生活と関連付けながら人々の健康について考えることができた。

○研修期間全般にわたる感想

研修では医療機関の見学だけではなく、僧院や政治の場、美術館など様々な場所へ行くことができた。ブータンにおいて人々の生活と仏教は共にあるもので、人々の信仰の強さを感じた。また今回、秋田大学の学生生活について発表するという機会をいただき、とてもいい経験をする事ができた。日々の生活でも英語でコミュニケーションをとるといふことの難しさを実感した。しかし同時にコミュニケーションは言葉だけではないといふことを学ぶことができた。

○今後の勉学計画

ブータンでの2週間で、ブータンと日本との考え方や価値観の違いを感じた。しかしこれは国同士において成り立つだけではなく、日本国内で人々との関わりの中でも共通することだと思ふ。今後の看護師・保健師の勉強や実習で、人を理解し受け入れるといふことを大切に相手のニーズに合った看護・保健師活動について学んでいきたい。また、今回一番痛感したことは、英語力のなさであった。看護に関する勉強だけではなく、毎日時間を見つけながら英語の勉強にも取り組んでいきたい。

